

# 行政評価シート

事務事業名	生活習慣病予防事業(各種検診・健康教育・健康相談)		事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係
				予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	市民の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を目標とする。 目標を達成することにより、市民が健やかにいきいきと暮らすことができる。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	生活習慣病予防教室の開催、健康教育の実施、がん検診、女性検診の実施。
------	------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	各がん検診受診率			指標の単位	%
指標の説明	受診者数を対象者数で除して受診率とする。H29までは市のがん検診の対象者(19歳以上)で除していたが、H30年度より福島県の統計時の対象者に合わせて40歳～69歳を対象者として除すこととする。				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	50	50	50	50	50
実績値	10.6	7.8	44	37.8	
達成度(%)	21.2	15.6	88	75.6	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	市の対象者は社会保険による事業所検診を受診していることが多いため、実際の対象者数が適正な対象者であるか確認ができないことから、受診率向上が難しい。H30年度より県の統計方法に合わせた対象者数としたため、目標値に近づいたが、継続性を評価できないため評価はCとした。				所管課評価
					C

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	がん検診の受診率が上がることで早期発見・早期治療が図られ、自分の体を知ることで予防につなげることができることから、周知方法や受診券の方法等を検討し少しでも受診率の向上を図る。40代の働き盛りの受診率が上がるように、受診しやすい体制を検討する。

# 行政評価シート

事務事業名	人間ドック検診事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	日帰り人間ドックを実施することにより、現在ある個々の健康状態を隅々まで検査し、疾病の早期発見と予防市民の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を目標とする。目標を達成することにより、市民が健やかにいきいきと暮らすことができる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	当該年度末現在の満年齢が、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、68歳になる市民で、総合検診を受診しない者に1日人間ドック(日帰り)検診の費用を一部補助する。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	申込率			指標の単位	%
指標の説明	人間ドックの対象者に対する申込率				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	15	15	15	15	15
実績値	13.5	11.7	11.7	13.4	
達成度(%)	90.0	78.0	78.0	89.3	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	受診者数は少しずつ向上しているが、なお周知の仕方を検討し認知度を高める。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	周知方法等を検討し認知度を上げる。 また、市内病院での受入人数が減少しているため、人間ドックの委託について市外病院を含めることを検討する。

# 行政評価シート

事務事業名	予防接種事業(高齢者)			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	伝染のおそれのある疾病の発生、まん延及び重症化を予防する。 疾病を予防することにより市民が公衆衛生の向上、健康な生活が営まれる。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	65歳以上の者に対し、インフルエンザ予防接種を実施する。 定期接種化された高齢者肺炎球菌ワクチンについては、65歳となる高齢者を対象として実施する。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	接種率			指標の単位	%
指標の説明	接種者数を対象者数で除して接種率とする。				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	60	60	60	60	60
実績値	61.4	52.8	53.4	46.4	
達成度(%)	102	88	89	77	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	インフルエンザについては、R元年度では57.6%の接種率となっており、目標値に近い数値となっている。肺炎球菌については、H30年度で1巡目が終了しR元年は2巡目となっていることから、接種率は低くなってきており、平均として接種率が下がっている。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	目標値を上げることも検討しながらなお周知に努める。

# 行政評価シート

事務事業名	予防接種事業(任意)			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	伝染のおそれのある疾病の発生、まん延を予防する。 疾病を予防することにより市民が公衆衛生の向上、健康な生活が営まれる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	法定外ではあるが、0～中学生、妊婦に対し、インフルエンザ予防接種を実施する。おたふく、ロタウイルスも非定期接種であるが、該当年齢に予防接種を実施する。成人の風しん抗体検査等、妊娠予定及び妊娠を希望する夫婦に対し実施する。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	接種延件数(風しん抗体検査等)			指標の単位	件
指標の説明	接種者の延件数				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	100	100	100	100	100
実績値	112	84	236	116	
達成度(%)	112	84	236	116	
指標名②	出生数に対する接種数の率(ロタ)			指標の単位	率
指標の説明	出生者に対する接種者の率				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	
達成度(%)	100	100	100	100	
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	ともに目標値を超えており、重症化を防ぐことができている。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	風しん抗体検査等については、妊娠希望女性やパートナーの人数に左右されるため、周知を継続し、目標値は現状のままとする。

# 行政評価シート

事務事業名	国保特定健診事業			事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	国保年金課	担当係	国保年金係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	国保加入者に対し、生活習慣病の予防検診である特定健康診査を行い、受診後の保健指導につなげることにより、疾病の予防、早期発見、早期治療を推進し、被保険者の健康の保持増進、医療費の伸びの抑制を図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	40歳から74歳までの被保険者に対し、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防対策として、特定健康診査を実施した。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	特定健診受診率			指標の単位	%
指標の説明	平成29年度までは第2期特定健診等実施計画、平成30年度以降は第3期特定健診等実施計画による目標値。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	55	60	47.5	49	50.5
実績(見込)値	45.29	43.47	45.53	44.1	
達成度(%)	82	72.5	95.9	90	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	平成28年度は一部負担金を無料としたため、受診率が平成27年度の42.6%から大きく向上したが、平成29年度はその効果が落ち着き、平成27年度よりは上昇したが、平成28年度よりは低下した。令和元年度は、集団健診時期に台風等の影響があり、追加健診を実施したが受診率が低下した。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	

# 行政評価シート

事務事業名	保健センター修繕事業			事業開始年度	平成28年度
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	3. いつまでも元気で生きがいのもてるまち
政策 (方策)	(1)元気・健康で生涯スポーツの盛んなまちをつくります
施策 (手法)	①生活習慣病予防と健康寿命の延伸
取組事項	Ⅱ. 保健事業の充実

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	電気設備や空調設備等を計画的に改修し施設管理を行う。 適切な施設管理により、利用者(検診等受診者等)が快適に利用できる施設となる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	安達保健福祉センター空調設備更新(3年目/3年)H30終了 岩代保健センター空調設備更新(2年)R2終了予定
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	利用率			指標の単位	%
指標の説明	乳幼児健診等の利用は年間で決まっているので、利用率は常に100%となる。(施設の指標は利用率でなければ測れないと思うが、貸出していない施設の場合は100%になるほかはない)				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	
達成度(%)	100	100	100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	乳幼児健診等でも受診者が快適に過ごせている。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	施設改修を計画的に進める。